

# SPネオ無機コート標準仕様

## 屋根・その他部位 塗替え用 (鋼板・金属部・トタン)

工 程	使用材料	配合比 主剤：硬化 剤	希釈割合 (%)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗面積 (m <sup>2</sup> /トット)	塗間隔 (20℃)
素地調整	高圧水洗	—	—	—	—	—
下 塗	2液サビカット	9：1	0～5 塗料用シンナー	0.13 ～0.15	106～123	4 時間以上 ～7日以内
上 塗 1	ネオ無機コート	5：1	0～10 塗料用シンナー	0.12 ～0.15	104～130	16 時間以上 ～7日以内
上 塗 2	ネオ無機コート	5：1	0～10 塗料用シンナー	0.12 ～0.15	104～130	—

注-1 発錆が無く、表面状態が良好な場合は、下塗工程を省略することも可能です。

注-2 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上、また結露や降雨が予想される場合は塗装を避けてください。

注-3 ガルバニウム鋼板の場合は、表面の目荒が必要です。



# セミフロnlーフ標準仕様

## 屋根 塗替え用

### (カラーベスト・スレート瓦)

工 程	使用材料	配合比 主剤：硬化剤	希釈割合 (%)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗面積 (m <sup>2</sup> /t <sup>2</sup> )	塗間隔 (20℃)
素地調整	高圧水洗	—	—	—	—	—
下 塗	エポシーラーマルチ	—	—	0.10	140	3 時間以上
上 塗 1	セミフロnlーフ	—	0~10 塗料用シンナー	0.18 ~0.20	75~83	16 時間以上 ~7日以内
上 塗 2	セミフロnlーフ	—	0~10 塗料用シンナー	0.18 ~0.20	75~83	—

注-1 セミフロnlーフバインダーS i IIは上塗りと同色（共色）になります。

注-2 セミフロnlーフバインダーS i IIは2液反応硬化型塗料となります。主剤と硬化剤の配合割合を厳守して下さい。配合割合を誤りますと十分な塗膜性能を発現出来ませんのでご注意下さい。また可使時間を超えて使用しますと性能低下及び層間密着性を低下させる原因となります。以下の可使時間を厳守し、必ず可使時間内に使い切って下さい。

注-3 セミフロnlーフは空気中の水分と反応し硬化致します。必要分のみ缶から出し速やかに缶を密栓して下さい。長時間開缶状態で放置されますと、皮張りを生じる恐れがあります。また、使用後缶に残った塗料を保管される場合は、塗料表面が隠れる程度までシンナーを添加し、必ず密栓し空気との接触を断って下さい。



# セミフロnlーフ標準仕様

## 屋根 塗替え用

(セメント瓦・劣化したカラーベスト)

工 程	使用材料	配合比 主剤：硬化剤	希釈割合 (%)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗面積 (m <sup>2</sup> /t <sup>2</sup> )	塗間隔 (20℃)
素地調整	高圧水洗	—	—	—	—	—
下 塗	屋根・瓦用サフェーサー	—	5~10 清水	0.5	30	16時間以上
上 塗 1	セミフロnlーフ	—	0~10 塗料用シンナー	0.18 ~0.20	75~83	16時間以上 ~7日以内
上 塗 2	セミフロnlーフ	—	0~10 塗料用シンナー	0.18 ~0.20	75~83	—

注-1 セミフロnlーフバインダーS i IIは上塗りと同色（共色）になります。

注-2 セミフロnlーフバインダーS i IIは2液反応硬化型塗料となります。主剤と硬化剤の配合割合を厳守して下さい。配合割合を誤りますと十分な塗膜性能を発現出来ませんのでご注意下さい。また可使時間を超えて使用しますと性能低下及び層間密着性を低下させる原因となります。以下の可使時間を厳守し、必ず可使時間内に使い切って下さい。

注-3 セミフロnlーフは空気中の水分と反応し硬化致します。必要分のみ缶から出し速やかに缶を密栓して下さい。長時間開缶状態で放置されますと、皮張りを生じる恐れがあります。また、使用後缶に残った塗料を保管される場合は、塗料表面が隠れる程度までシンナーを添加し、必ず密栓し空気との接触を断って下さい。

